



父と私

さて、今号より何回かに分けて、父と私のことを書いていこうと思います。

有縁の皆さま、大変ご無沙汰しております。かけ橋の発行が一年以上滞ってしまい、大変申し訳ございません。

長引くコロナ禍の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、既に皆様ご周知の通り、父である秋津慈雲【願船坊第十四世住職】は年明けの一月二十五日に往生の素懷を遂げました。八十九歳の生涯でした。また、皆様のご尽力の元、七月十日に無事本葬を終えることができました。また、葬儀委員長の総代長天野様を始め、準備段階よりお力添えを頂いた方々、当日お手伝い下さった方々、ご会葬の皆様、御香典やご弔詞を頂きました皆様に、心より深く御礼申し上げます。

父は、住職として日々法務に励みながら、保育所の所長・幼稚園の園主として多忙な毎日を送っておりました。また、長年、音楽教室でピアノや音楽の基礎を教えており、父の教えを乞うた大勢のお弟子さんが音楽家やピアノの先生になっております。

私が父より住職を引き継ぎましたのは今から八年前になるかと思いません。前任職となった父は、ゆつくりとした時間を過ごしながら、元気な折は法務の手ほどきをしてくれていました。

晩年はソファーで横になっていて時間が増えてきておりましたが、音楽教育のアドバイスをしてくれたり、孫たちとのたわいない時間を過ごしたりして、穏やかな時を過ごしておりました。



住職を継職する前に、私は既に副住職として色々なことをお寺で始めておりましたが、いざ住職となった時、まず何をしないとイケないのか、ということが最重要課題となつてのしかかりました。日々の月忌参りから始まり、お葬儀にご法事、日曜学校、ご法座の準備に例会の勉強：また、近隣のお寺の住職方との会議やお付き合いに始まり、広島北組(可部、鈴張、安佐町)の寺院の組織、安芸教区(広島県下の寺院の組織)内の研修等への関わり等々：このような組織とご門徒様との窓口になる立場となりました。

ある意味、全てご教化と言つて良いのだと思いますが、この責務に携わるといふ自覚も段々に芽生えてまいりました。

私が住職になった年、常に胃の不快感と同居しておりました。後になって判明しましたが、どうやら今まで経験したことのない緊張の連続に、身体が参っていたようです。

音楽の事でしたら、そんなに緊張をしないで済むのですが、ただの僧侶、というのではなく、住職という重責は一介の僧侶とは全然違うものなのだということを痛感しました。

父は当然のことながら、長年にわたり、これだけの事をこなしていたわけですから、更にその上に音楽教室の仕事、保育所の所長・幼稚園の園主と、目の回る生活を送っていたわけで、今まさに自分が同じ道を歩んでいるのだと、日々感じております。 《つづく》

夏供養・永代経法要

ご講師の先生に島根県温泉津の瑞泉寺ご住職・三明慶輝先生をお迎えし、
講題『諸行無常―コロナ過の中で―』といただき、六月二十五日に夏供養
・永代経法要を勤修いたしました。

有名な妙好人・浅原才市さんが、ちょうど百年前のパンデミック（感染症
の世界的な大流行のこと）であるスペイン風邪に罹って、今晚が山とい
中、「念仏のせきが出る」と言われたのです。そしてまわりの人に「今晚
うまいことをさせてもらおう」と伝えられたのです。これは、最期を覚悟
され、必ずお浄土に参らせさせていただくことが間違いない（うまいこと）と
いただかれたのです。しかし、奇跡的に生還され、才市さんがひと言、
「まだまだ御恩報謝が足りんから、もうちょっと長生きさせてもらおう」
といわれたそうです。

どうかなろうと心は焦り
どうかなったは自力なり
どうかなろうと心配するな
治らぬままに救われる

これは、才市さんの師匠である宮大工の東参二郎
さんの言葉です。ご法義の篤い師匠との出会いが、
才市さんを妙好人にならしめたのでしょうか。

現在は百年に一度のパンデミック。私たち人類への大きな警鐘を打ち鳴ら
されています。金さえあればという、自己中心的な日暮らしをしている私
たちの生き様に対して、今一度、己の日々のありようをしっかりと振り返っ
てくれよ、との警鐘ではないでしょうか。コロナを通して日々の有り様
を、今一度振り返らせていただく、大変尊いご縁なのではないか、と先生
はいただかれました。



合掌

☆お知らせ☆

秋供養・報恩講法要（海谷真之師）

十二月一日（木）昼席・夜席

二日（金）朝席・昼席

（※昨年に引き続き、今年もおとぎはありません）

ゆく年くる年コンサート

十二月三十一日（土）夜九時より

除夜会 十二月三十一日（土）夜十一時四十五分より

修正会 一月一日（日）朝十時より

御正忌法要（住職自勤）

一月十五日（日）昼席・夜席

十六日（月）昼席

※但し、今後の感染状況によっては予定が変更にな
る場合がございます。どうもご理解下さいませ。

《再開しています》

☆仏教壮年会 毎月第二水曜日 午後六～七時半

☆仏教婦人会 毎月十六日 午後一時半～三時

お寺のホームページです。
<http://www.gansenbou.com>